モントリオール交響楽団

Orchestre symphonique de Montréal

Rafael Payare, music director / Leonidas Kavakos, violin

ラファエル・パヤーレ
（音楽監督）



© Gerard Collet

名門モントリオール交響楽団
新音楽監督の鬼才パヤーレとの初来日決定！

レオニダス・カヴァコス
（ヴァイオリン）

© Marco Borggreve

D.グージョン：**La Traversée**
D.Gougeon: La Traversée

チャイコフスキー：**ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op.35**
（ヴァイオリン：レオニダス・カヴァコス）
Tchaikovsky: Violin Concerto in D major, Op. 35 (Violin: Leonidas Kavakos)

ショスタコーヴィチ：**交響曲第8番 ハ短調 Op.65**
Shostakovich: Symphony No. 8 in C minor, Op. 65

© AntoineSaito

2027 3/2（火） 19:00開演（18:30開場） 東京オペラシティ コンサートホール

Tuesday, 2 March, 2027, 7p.m. at Tokyo Opera City Concert Hall

入場料（全指定席・税込）：S ¥24,000 A ¥20,000 B ¥15,000 C ¥9,000

10/31（土）一般発売開始

チケットお申込み

東京オペラシティ チケットセンター 03-5353-9999（10:00-18:00/月曜休み）
イープラス https://eplus.jp/〈PC&携帯〉
チケットぴあ https://t.pia.jp/〈PC&携帯〉（Pコード：339-300）
ローソンチケット https://l-tike.com/〈PC&携帯〉（Lコード：34064）　Teket https://teket.jp/15172/79306

主催：AMATI　協力：ファインアーツミュージック株式会社／株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ　後援：カナダ大使館

お問合せ：AMATI 03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103 https://www.amati-tokyo.com

AMATI

モントリオール交響楽団の新たな黄金期が始まった！

世界屈指の実力を誇るモントリオール交響楽団が、新音楽監督パヤーレとのコンビネーションで、待望の初来日を果たします。緻密でニュアンスに富んだアンサンブル。熱気溢れるダイナミックなサウンド。磨き抜かれたエスプリと色彩感溢れる鮮烈な表現で聴衆を魅了します。
そして、今回のもう一つの魅力が、ソリストのカヴァコス。比類なき技巧、優れた芸術性、世界中の一流オーケストラから招かれ、リサイタルや室内楽でも縦横無尽の活躍を見せています。カヴァコスが演奏するのは名曲中の名曲チャイコフスキー。パヤーレのダイナミックスとカヴァコスの説得力のある語り口が、どのような化学反応を見せるのか。期待が高まります。
そして、ショスタコーヴィッチの交響曲第8番。
不安感、寂寥感、恐怖心。そして壮大なクライマックス。パヤーレの熱量とモントリオール交響楽団の爆発的演奏が、私たちを圧倒することでしょう。
すでに、新たな黄金期がスタートしたと言われるパヤーレとモントリオール交響楽団。その記念すべき最初の日本公演をお聴き逃さなく。

PROFILE

ラファエル・パヤーレ（音楽監督）
Rafael Payare, music director

生来の音楽性、卓越したコミュニケーション能力、そして人を惹きつける喜びに満ちた音楽性で際立つ指揮者ラファエル・パヤーレ。14歳でベネズエラの「エル・システマ」に参加してホルンを始め、2004年よりホセ・アントニオ・アブレウのもとで本格的に指揮を学んだ。2012年、デンマークの権威あるマルコ国際指揮者コンクールで優勝したことを機に、国際的なキャリアを急速に広げていく。2014年から2019年までアルスター管弦楽団の首席指揮者兼音楽監督を務め、2015年からは、師である故ロリン・マゼールが創設したキャッスルトン・フェスティバルの首席指揮者を務めている。2019年にサンディエゴ交響楽団の音楽監督に就任し、その3年後にはカナダのモントリオール交響楽団の音楽監督に就任した。近年は、ニューヨーク、シカゴ、ロサンゼルス、サンフランシスコ、フィラデルフィア、チューリヒ、ベルリン、ウィーン、ロンドン、ミュンヘン、ハンブルク、パリなど、世界を代表するオーケストラを数多く指揮。またオペラの分野でも、ロンドンのロイヤル・オペラ・ハウス（コヴェント・ガーデン）、グラインドボーン音楽祭、ストックホルムのスウェーデン王立歌劇場、デンマーク王立歌劇場などで重要なデビューを果たしている。

www.facebook.com/RafaelPayareConductor
www.instagram.com/rafaelpayareconductor
twitter.com/rafaelpayare


© Gerard Collet

レオニダス・カヴァコス（ヴァイオリン）
Leonidas Kavakos, violin

レオニダス・カヴァコスは、比類なき技巧、卓越した芸術性による完成度の高い演奏で世界的に称賛を集める現代最高のヴァイオリニストと形容するにふさわしい音楽家であると共に、近年は指揮者としても高い評価を得ている。ウィーン・フィル、ベルリン・フィルをはじめ世界有数のオーケストラや、ユジャ・ワン、ヨーヨー・マ、エマニュエル・アックス等との室内楽やリサイタルで、世界中の主要ホール、フェスティバルで幅広く活躍している。2022年には、ギリシャの優れた音楽家によるアポロン・アンサンブルを設立。2025年よりソウル・ロッテ・コンサートホール「Classic Revolution Festival」芸術監督を務め、2027/28シーズンからはミネソタ管弦楽団首席客演指揮者に就任する。広範なディスコグラフィーを誇りエコー賞の「年間最優秀器楽奏者」、グラモフォン年間最優秀演奏家を始め数々の賞を受賞している。2017年には権威あるレオニー・ソニング音楽賞を受賞。2022年にアテネ・アカデミー会員に選出され、2024年にはバーゼル音楽大学ヴァイオリン科教授に就任している。使用楽器は1734年のストラディバリウス「Willemotte」。


© Marco Borggreve

モントリオール交響楽団
Orchestre symphonique de Montréal

1934年、アントニア・ナンテル、ウィルフリッド・ペルティエ、アタナーズ・ダヴィッドによって創設されたモントリオール交響楽団（OSM）は、ケベック州およびカナダの音楽界を牽引する存在として、確固たる地位を築いてきた。世界屈指のオーケストラのひとつとして高く評価され、最高水準の指揮者、ソリストとともに広大なオーケストラ・レパートリーを演奏することを活動の中核とし、カナダを代表する文化大使としても重要な役割を担っている。音楽監督ラファエル・パヤーレのもと、OSMは長年にわたる社会との関わりの中で培われてきた豊かな伝統を受け継ぎながら、幅広いプロジェクト、世界各地へのツアー、そして充実したディスコグラフィを通して、その伝統を発展させている。現代社会にしっかりと根を下ろし、演奏会と録音の双方における革新的な芸術プログラムによって、交響楽のレパートリーに今日的な意義をもたらすとともに、本拠地であるケベック州最大の都市モントリオールにおいて、文化の中心的存在としての役割をさらに強めている。これまでカナダ国内各地を巡り、ケベック州最北部をはじめ、アメリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アジア各国で海外公演を行ってきた。録音活動も極めて充実しており、デッカ、アナレクタ、CBCレコード、ECM、EMI、フィリップス、ソニー、ペンタトーンなどのレーベルから100点を超える録音を発表。これまでに国内外で110を超える賞を受賞している。


© AntoineSaito

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。
①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

いま注目のパヤーレ&モントリオール響
バレエ・リュスのための2大傑作を収録！
PENTATONE



CD2枚組

ラヴェル：《ダフニスとクロエ》
ストラヴィンスキー：《春の祭典》

ラファエル・パヤーレ（指揮）
モントリオール交響楽団

品番：PTC-5187665（輸入盤・オープン価格）
発売元：PENTATONE
販売元：ファインアーツミュージック株式会社

レオニダス・カヴァコス
J.S.バッハ：ヴァイオリン協奏曲集
Sony Music Japan International
SONY CLASSICAL
前作の無伴奏全集に続く協奏曲集。カヴァコスのJ.S.バッハへの洞察をより深く知る。



J.S.バッハ（1685-1750）
❶ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 BWV1052R
❷ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 BWV1041
❸ヴァイオリン協奏曲第2番 ホ長調 BWV1042
❹ヴァイオリン協奏曲 ト短調 BWV1056R
❺アリア（管弦楽組曲第3番 ニ長調 BWV1068より）
【演奏】ヴァイオリン：レオニダス・カヴァコス、アポロン・アンサンブル
【録音】2023年9月7-9日 ギリシャ、メガロン・アテネ・コンサート・ホール、ディミトリ・ミトロプーロス・ホール

絶賛発売中
CD ◉ SICC 30846
定価 ¥2,860（税抜価格 ¥2,600）
BSCD2 Blu-spec CD2